

新内科専門医制度

令和3年度版

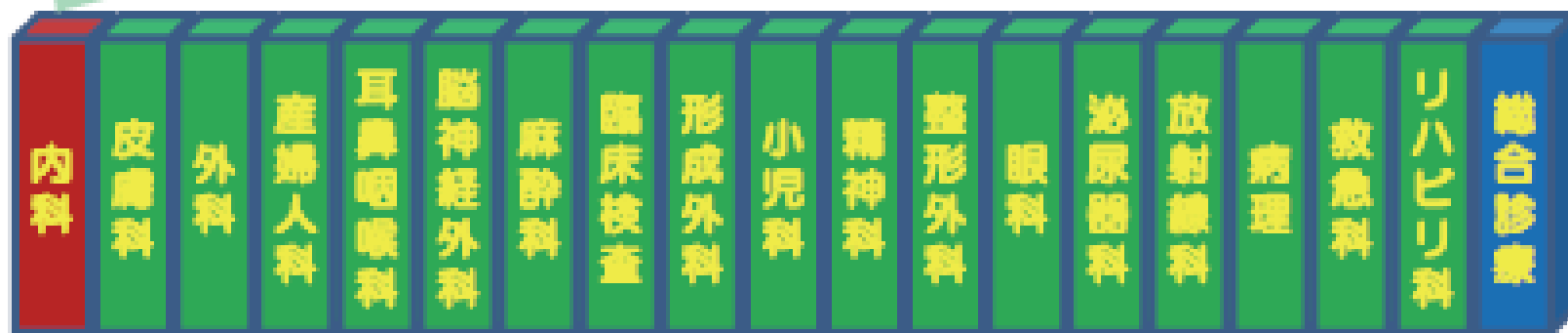
中部ろうさい病院 内科専門研修プログラム



募集人員 7名

新・内科専門医制度

(新)内科専門医は19の基本領域専門医の一つ
従来の「内科認定医」と「内科専門医」が再び統合された



基本領域専門医 (従来18基本領域の専門医制度と総合診療)

内科専門医を取得するには(基幹)研修病院において 以下を研修することが必須

必須履修項目(症例登録)

- 修了認定には、主担当医として3年間で内科全分野を **70 疾患群**に分類して、最低 **56 疾患群**の中から1症例以上受け持ち、計 **160 症例以上**を経験し登録(外来症例は 1 割まで含むことができる)
- 到達目標は**70 疾患群 200 症例**
- 初期研修医症例 **必須症例の1/2が認められる**
 - 症例登録80症例、病歴要約14症例まで認められる

病歴要約提出

- 専攻医2年次修了時まで**に29症例**の病歴要約提出を行う
- Web登録:**J-OSLER**

JMECC

- **内科系ICLS研修**

令和3年度内科専攻医プログラム

中部ろうさい 定員 7名

- **基幹施設である中部労災病院において**
- **専攻医1年次より原則12ヶ月全科ローテーション研修**
 - 内科系6部門2か月x 6
 - 消化器、循環器、呼吸器、代謝・内分泌、神経、腎臓・リウマチ膠原病
- **異動研修：連携施設における研修**
 - 原則1年
 - 地域医療
 - 当院にない専門科研修(例：血液内科)
 - 希望科研修

令和3年度専攻医採用試験日程

- **第1回 9月24日(木)17時半**
- **第2回 10月8日(木)17時半**
- **上記日程を予定しますが、都合がつかない場合はご相談下さい:詳しくはHPを参考にして下さい**
- **希望する研修方式を含めて柔軟に対応を検討いたしますので、不明な点はどのような点でも気軽にお問い合わせ下さい**

問い合わせ先 内科プログラム責任者 丸井伸行

marui.cvm@chubuh.johas.go.jp

中部ろうさい病院プログラムの特徴①

- 当院プログラム定数は7名に決定しました
 1. 志望科に加え、内科全般の臨床能力を育成します
 2. サブスペ重点研修を可能にします
 3. 地理的に比較的コンパクトな範囲に連携病院を多数有し、自由度の高い異動研修が可能です
 4. 関連大学は名古屋大学に加えて藤田医科大学、愛知医科大学と連携します
 5. 労災病院グループの関東労災病院とも連携します

中部ろうさい病院プログラムの特徴②

- **各科ローテーションコース**と希望専門領域に重点をおいた**サブスペ重点コース**を準備します
- 研修実績に基づき、同時に複数科症例を経験することにより、内科専門医取得に必須の症例経験を習得し、サブスペ重点コースを選択可能とします
- 内科専門医研修中に経験した症例は将来選択するサブスペシャルティ領域の専門研修の症例としても認められます（連動研修）
- 初期研修中の症例も審査の上、内科専門研修症例として認定します

サブスペ重点研修

- **内科全分野における研修目標は内科ローテーション研修と同等**
- **初期研修時の担当症例ならびに内科専攻医研修開始後の担当症例数を評価してローテーション設定し、サブスペ重点研修を可能とする**

当院プログラムについて： 呼吸器内科志望 ローテーション研修（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	消化器		循環器		糖尿病・代謝内分泌		神経		腎臓・リウマチ膠原病		呼吸器	
	外来研修											
	救急											
2年目	呼吸器内科						名古屋医療センター			旭労災病院		
	Subspecialty 研修											
	選択内科ローテーション・調整期間											
3年目	呼吸器内科											
	Subspecialty 研修											
	選択内科ローテーション・調整期間											

- 従来の内科研修方式。全科各2ヶ月ずつローテーション
- 必須症例確保のために、一部並行研修を検討中
- 連携施設研修に関しては、原則12ヶ月（6ヶ月基幹クラス病院、6ヶ月地域中核病院など）を予定

当院プログラムについて:

リウマチ膠原病科志望 サブスペ重点研修(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	腎臓・リウマチ膠原病		呼吸器		神経		循環器		糖尿病	消化器	腎臓・リウマチ膠原病	
	外来研修											
	救急											
2年目	腎臓・リウマチ膠原病											
	Subspecialty 研修											
	選択内科ローテーション・調整期間											
3年目	大同病院			関東労災病院				腎臓・リウマチ膠原病				
	Subspecialty 研修											
	選択内科ローテーション・調整期間											

- 希望科を中心にローテーションを行う
- 初期研修時の担当症例ならびに内科専攻医研修開始後の担当症例数を評価して、サブスペ重点研修を開始する
- 必須症例確保のために、並行研修を検討中
- 連携施設研修に関しては、原則12ヶ月

総合内科外来=週1回の初診外来を担当

月	火	水	木	金
29	30	1	2	3
1 糖 中島	久賀 (総内)	丸井	6 循 原田憲	20 循 原田一
専攻医 3① 寺島	専攻医 3③ 永瀬	専攻医 3② 前田	専攻医 4③ 竹田	専攻医 3① 寺島
6	7	8	9	10
5 消 児玉	久賀 (総内)	2 呼 松尾	8 呼 町田	3 腎・リ 藤田
専攻医 4⑥ 松島	専攻医 3③ 永瀬	専攻医 3② 前田	専攻医 4④ 青木	専攻医 3① 寺島
13	14	15	16	17
9 腎・リ 滝澤	久賀 (総内)	丸井	13 呼 松下	4 神 亀山
専攻医 4① 松井	専攻医 3③ 永瀬	専攻医 3② 前田	専攻医 4③ 竹田	専攻医 3① 寺島
20	21	22	23	24
10 神 梅村	久賀 (総内)	7 糖 今峰	海の日	体育の日
専攻医 4⑤ 栗林	専攻医 3③ 永瀬	専攻医 3② 前田		
27	28	29	30	31
18 腎・リ 村井	久賀 (総内)	丸井	14 腎・リ 國領	11 消 宿輪
専攻医 4⑥ 松島	専攻医 3③ 永瀬	専攻医 3② 前田	専攻医 4③ 竹田	専攻医 3① 寺島

- 8年目以上の内科指導医とペアになり、外来診療を担当。
- 毎週金曜の総合内科カンファで、指導医と内科専攻医が集まり、症例の振り返りを行う。

総合内科外来 振り返りカンファレンス

- 総合内科外来で**迷った症例**や**勉強になった症例**を持ち寄り、週1回カンファレンスを行なっています。
- さらに知識を深めるために、専門家の先生に講義をお願いしています。
- 志望科に偏ることなく、内科医としての力をつけることを目標としています。



当院の診療実績

表. 中部労災病院 診療科別診療実績(2019 年度実績)

診療科	区分	入院患者実数 (人/年度)	外来延患者数 (延人数/年度)
糖尿病・内分泌内科		499	22,229
呼吸器内科		1,361	11,380
腎臓内科		988	17,421
リウマチ・膠原病科		453	9,997
消化器内科		1,525	16,531
循環器内科		1,369	15,211
神経内科		840	11,424
総合内科(一般)		33	7,264
救急部		※再掲(2,990)	※再掲(9,092)

当院および連携・特別連携施設の指導医数

	病院	病床数 (歯科病床を除く)	内科系 診療科数	症例 指導医数	(症例指導医のうち) 総合内科 専門医 数	剖検数
基幹施設	中部労災病院	556	11	27	18	7
連携施設	名古屋大学医学部附属病院	1080	9	64	97	11
	愛知医科大学病院	900	11	91	40	12
	藤田医科大学病院	1435	12	56	55	18
	名古屋医療センター	726	11	28	15	10
	名古屋第一赤十字病院	852	7	32	28	22
	関東労災病院	610	10	23	21	4
	東名古屋病院	329	6	13	12	6
	総合上飯田第一病院	236	8	7	4	—
	名古屋セントラル病院	198	7	12	6	4
	旭労災病院	250	7	10	8	10
	豊田地域医療センター	150	5	7	2	0
	中東遠総合医療センター	500	8	14	12	5
	大同病院	404	13	1	0.75	0
	公立陶生病院	633	10	22	25	13
	半田市立半田病院	499	7	14	12	13
	常滑市民病院	267	6	5	6	5
	久美愛厚生病院	300	4	9	4	2
	名古屋徳洲会総合病院	350	6	8	7	14
	特別連携施設 (地域密着型 病院)	臨港病院	142	1	—	—
亀井内科・呼吸器科		—	2	1	1	—
三つ葉在宅クリニック		—	1	—	—	—

連携施設・特別連携施設

● 連携施設

- 名古屋大学医学部附属病院
- 愛知医科大学病院
- 藤田医科大学病院
- 名古屋医療センター
- 名古屋第一赤十字病院
- 大同病院
- 陶生病院
- 東名古屋病院
- 名古屋セントラル病院
- 総合上飯田第一病院
- 中東遠総合医療センター
- 半田市立半田病院

- 常滑市民病院
- 久美愛厚生病院
- 関東労災病院
- 名古屋徳洲会病院
- 旭労災病院
- 豊田地域医療センター
- 特別連携施設
 - 臨港病院
 - 亀井内科・呼吸器科
 - 三つ葉在宅クリニック

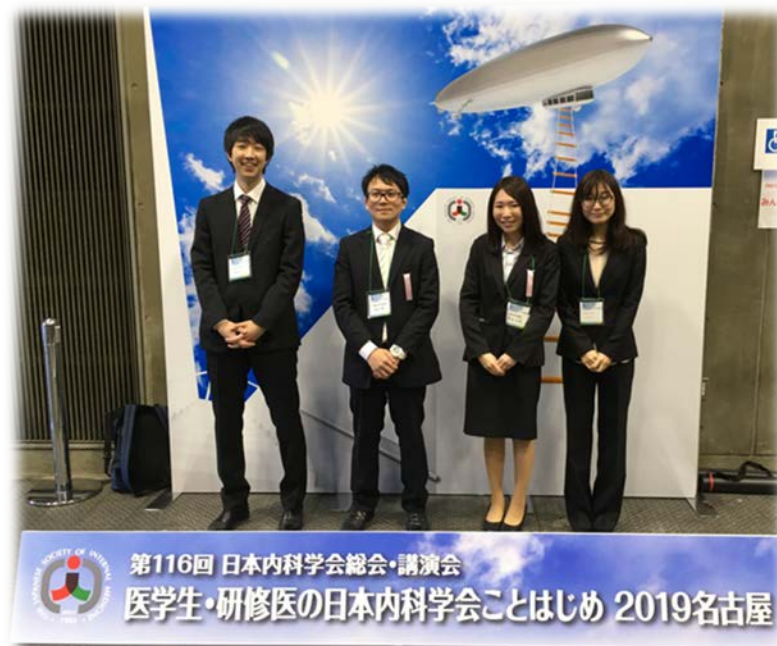
充実した内科専攻医 他院からも研修に来てくれています

令和2年度

	当院3年次専攻医											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年次	腎リウマチ				糖尿病	神経		呼吸器		循環器		腎
3年次	神経		循環器		呼吸器	消化器		糖尿病		腎	神経	
3年次	呼吸器		神経		循環器		腎	消化器		糖尿病		
	当院4-5年次											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5年次	腎リウマチ											
5年次	名古屋医療センター						腎リウマチ					
5年次							消化器					
4年次							消化器					
4年次	呼吸器						名古屋医療センター			旭労災病院		
4年次	名古屋第一赤十字病院						循環器					
4年次							消化器					
4年次							腎リウマチ					
4年次							呼吸器					
	他院4-5年次専攻医											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
愛知医大	糖尿病											
第一日赤	循環器											
第一日赤							腎リウマチ			神経		
関東労災							循環器			腎リウマチ		
第一日赤	呼吸器											
第一日赤							腎リウマチ					
医療センター							腎リウマチ					

専攻医のコメント1 永瀬宏哉先生

- 初期研修から現在まで中部労災病院で研修をしています。
- 興味深い症例や珍しい症例を優先的に若手に振り分けようという雰囲気もありながら、一般内科入院の症例も豊富でspecialistとしてもgeneralistとしても成長できる環境だと日々感じております！
- また、私の志望科の腎臓リウマチ科では外部の著明な先生方に実際自分が担当している症例を相談させていただいたり、レクチャーをさせていただいたりする機会があり他では得難い経験をできています！



異動研修に来ていただいた先生のコメント 松井綾香先生(名古屋第一赤十字病院)

カテ室にて

朝カンファ後

- 4月から異動研修させて頂いております。
- 先生方が優しく熱心に御指導下さり、学びの多い日々を過ごしています。
- 症例も幅広く経験することができ、手技も積極的に参加させてもらえるのでとても有意義な研修になっています。
- 循環器内科医としてのスタートを当院でできて本当によかったと思っています。半年間で学んだことを生かして今後も頑張ろうと思います。ありがとうございました！

こっそりカテ室にて

PIZZA！！

屋根瓦式の中核を専攻医が担っています

スタッフ

専攻医の相談を受け、サポート
内科初診外来で、専攻医の指導を行う

専攻医

3-5年目
チーフレジデント制
全ての専攻医が研修医教育に携わる体制

初期研修医

専攻医とともに症例を担当できる体制
特に総合内科症例については、初期研修医が主体的に診療を行う

研修医教育への参加

- チーフレジデントを中心に専攻医が初期研修医の教育を積極的に行っています。
- 火・木曜の「**臨床推論カンファレンスの司会**」、「**木曜朝のERカンファレンス**」を専攻医主体で行なっています。
- 教えてもらうことに加え、人に教えることも医師としての成長につながると考えています。



↑ 内科専攻医の先生が、初期研修医の先生に講義している様子。MKSAPを題材にしています。

- **密度の高い内科研修を目指します**
- **総合力を有し逆境に強い内科医を育成します**
- **是非当院プログラムを検討下さい**